

2009 年 4 月 20 日

オリンピック 冬季大会初の全放送 HD 配信

## バンクーバーオリンピックのHD映像制作にパナソニックの放送機器を使用

北京に引き続き「DVCPRO HD」シリーズや「P2HD」シリーズで撮影

パナソニックの放送用半導体メモリー映像収録システム「P2HD シリーズ」や HD 放送機器・システムが、カナダ・バンクーバー冬季オリンピック大会の映像制作用に、同大会のホストブロードキャスターである OBSV (Olympic Broadcasting Services Vancouver) に使用されることになりました。また、北京オリンピック同様に当社放送用 HD デジタル VTR「DVCPRO HD シリーズ」が、バンクーバーオリンピックでも記録フォーマットとして使用されます。

これらにより、2010 年 2 月にカナダ・バンクーバー市内のバンクーバー・コンベンション&エキシビジョンセンターに設置される国際放送センター (IBC) から、世界の契約放送局に配信される国際映像が全て HD (1080i) による制作・配信になります。北京オリンピックに続き、全面的に HD 機器が使用される初の冬季大会となります。

1992 年のバルセロナ大会以来、過去 9 回にわたり映像記録フォーマットとして使用された当社のデジタル放送技術により、バンクーバーオリンピックでもより臨場感のある高画質・高音質 HD 映像をお茶の間にお届けする予定です。

当社の放送機器開発を担当する AVC ネットワークス社 システム事業グループ 下水流正雄ビジネスユニット長は次のように述べています。

「パナソニックは、1992 年のバルセロナ大会より公式放送機器サプライヤーとして、最新技術でオリンピックの映像記録の歴史に貢献してきました。HD 時代においても、実績のある『DVCPRO HD シリーズ』に加えて、最新の動画コーデック『AVC-Intra』を搭載した『P2HD シリーズ』といったテープレス HD 放送機器をバンクーバーオリンピックのために準備しています。

特に『P2HD シリーズ』は IT との親和性が高く、テープなどの他のメディアと比較して高速かつ効率的なワークフローを実現します。また、従来の VTR やディスクシステムに比べメカレスで交換部品が少なく済み、使用済みテープのような廃棄物も大量に発生しないため、地球環境にも配慮した製品と言えます。高い環境志向を持つバンクーバーオリンピックで、放送機器でも環境に貢献できると考えています。」

OBSV のマノロ ロメロ CEO は次のように述べました。

「バンクーバーオリンピックは北京オリンピック同様全ての映像が HD で放送されます。北京での経験が今回のバンクーバーでも活かされるでしょう。私たちはより臨場感にあふれた高画質な HD 放送を、確実にかつ効率的に、全世界の視聴者の皆様に送り届けます。」

パナソニックの先進 HD 放送技術によって、カナダからバンクーバーオリンピック大会の感動と興奮を、デジタルハイビジョンテレビ「VIERA」やホームシアターシステムを通じて世界中の人々が共有することでしょう。また、HD 映像はブルーレイディスクレコーダー「DIGA」に録画して、いつでもオリンピックの臨場感を再現することができます。

## 【TOP スポンサーについて】

パナソニックは、国際オリンピック委員会の TOP プログラムが始まった 1988 年カルガリー冬季オリンピック大会以来、世界平和の実現を目指すオリンピック・ムーブメントの趣旨に賛同し、映像音響カテゴリーの TOP (The Olympic Partner) として、20 年以上にわたりオリンピック活動に貢献してきました。そして、これからも世界中の人々とオリンピックの感動を分かち合う“Sharing the Passion”をスローガンに、パナソニックは技術を通じてオリンピックの成功に貢献していきます。

2007 年、パナソニックは 2016 年夏季オリンピック大会までの長期パートナーシップに調印しました。



# Panasonic

Official Worldwide  
Olympic Partner